

第 322 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和 5 年 1 月 25 日

株式会社エフエム石川

第 322 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日・開催場所

2023 年 1 月 18 日（水） 午後 2 時 ～
香林坊ラモーダ 9F

2. 委員の出席

総委員数 7 名
出席委員数 6 名

出席委員の氏名（50 音順）

委員長：柳澤良一

副委員長：酒井雅洋

委員：久保 勉、平木孝志、宮川昌代、八木光世

4. 議題

業務概要の報告

番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

[業務概要の報告]

2022年日本民間放送連盟賞ラジオ準グランプリ作品となった「村上 RADIO 特別版 戦争をやめさせるための音楽」を12月18日に放送したことや、年末年始の特別編成として12月29日に「COUNT DOWN JAPAN 年間チャート2022」や「山下達郎 サンデー・ソングブックスペシャル」を放送したことが報告されました。また、12月30日は自社番組 Flyin' Pop の放送時間を30分拡大し、年末特別バージョンとして「年忘れオールリクエスト大会」を行ったことや、12月31日には午後11時から午前1時まで「JFN 年末年始特別番組 終わらない歌を歌おう 2022-2023 by SCHOOL OF LOCK!教育委員会」を放送したことも報告されました。

[番組の試聴と質疑・意見交換]

(1) 【試聴番組】

番組タイトル：Flyin'Pop ゲスト出演 太郎田真理石川県議会議員

放送日時：2022年12月23日、2023年1月6日(金)

各回 15:40 頃 ~ 15:50 頃

出演：太郎田真理 (石川県議会議員)

南 早苗 (エフエム石川パーソナリティ)

(2) 【番組内容】

12月と1月、自社制作ワイド番組「Flyin'Pop」内に太郎田真理県議が出演。自身の活動のひとつである音楽療法士や、県議会議員として石川県の「ゆく年くる年」を語りました。クリスマス前の12月23日はトーンチャイム(楽器)の演奏で歌声を披露。1月6日は自身が長年かかわってきたオーケストラ・アンサンブル金沢をはじめ石川県の文化について、他県にはない魅力と展望を伝えました。

(3) 【意見交換】

■久保勉委員

まず、生放送であることが良いと思いました。クリスマスや年末年始に合わせた企画になっており、時期・季節に合わせて放送することが改めてラジオにとって大切だと思いました。音楽療法士としての話や楽器の話がありましたが、スタジオでの生演奏は良かったです。ただ、音楽療法士と石川県議会議員のどちらを主とした出演なのかがよく分からなかったのが残念でした。どちらかの立場に絞って出演した方が良かったのではないのでしょうか。さらに「女性目線

で…」という話題がありましたが、最近「男性・女性」という区分をするのは慎重に行ったほうが良いと感じました。

番組全体としては、年末年始の慌ただしい中で心落ち着く良い番組でした。

■八木光世委員

番組冒頭から明るい声、明るい人柄が伝わってきただけでなく、地元の人の話と音楽で進めるというラジオらしい番組で良かったと思いました。一方で、なぜ太郎田議員が出演したのか、どんな方なのかをしっかりと説明してもらえるとより良かったです。選挙が近いことから、どのような人選判断だったのか聞きたいと思いました。

■宮川昌江委員

「きよしのこの夜」の歌もあり、北國新聞文化センターで講師をしていることもあっての出演なのかと思いました。全体を通して感じたのは、地元のことを伝えるのも良かったです。太郎田議員ご本人のことをもっと話したほうが良かったのではないかとということと、音楽療法士という立場に絞っての出演の方が良かったのではないかとということです。また、「きよしのこの夜」の歌詞が慣れ親しんでいる歌詞と違ったのは残念でした。そして折角の綺麗なトーンチャイムの音が歌声にかき消されたのももったいなく感じたので、音のバランスをうまく取れたら良かったです。全体を通して、南アナウンサーの歯切れのよいインタビューが素晴らしかったです。

■平木孝志委員

太郎田議員の話しぶりや明るさが素晴らしかったです。石川県としても知事が変わり女性副知事の起用があったこと、また議会のなかで女性県議が何人いるかなど県議会の様子も分かりやすく伝わってきました。県立図書館の話では「ビブリオバウム」という名称はもう少しゆっくり言ってほしかったです。今年石川県で開催される国民文化祭については、「34年ぶり」などの細かい情報を挟みながら分かりやすく話していて、さすが元アナウンサーという経歴の持ち主だと思いました。

■酒井雅洋副委員長

音楽療法士や文化センターの講師の立場として音楽の話をもっと深掘りすれば良かったと思います。いまはあまり歌われなくなった童謡唱歌への造詣も深い方なので、残していくためにどうしたら良いかなどを聞かせてもらえればと思いました。またトーンチャイムという楽器を使って生放送で歌いましたが、

その形状や大きさ、演奏方法など、どんな楽器なのか具体的な説明があると良かったです。後半では、県民でもなかなか知らない石川県の文化情報を伝えたのは良かったです。オーケストラ・アンサンブル金沢のアーティスティック・リーダー広上淳一さんを「アーティスティック・アドバイザー」と案内したのが残念でした。クリスマスの話はタイムリーでよかったのですが、途中から県議会の話になり焦点が合わなくなったのがもったいなかったです。

■柳澤良一委員長

賛美歌の明るい歌声は大変良かったです。その反面、県議会議員として石川県の文化施策を伝えるのは良かったです。せっかくの機会なので問題となっている石川県議の男女比について話をするべきではなかったでしょうか。また県立図書館の入館者について人数の話だけだったのは残念でした。数字の内訳など中身についての報告と、これからの方針などについての話がないのはとてももったいなかったです。このラジオ出演の方向性が定まっていなかったと感じました。

国民文化祭についての話もありました。私も石川県の漢詩連盟の一員として準備を進めていますが、今回の放送で県の宣伝方法に、より工夫が必要なのではないかと改めて感じました。金沢駅や県庁などの特別な場所だけでなく、地元のショッピングモールなど一般の県民が触れられる場所での PR をすべきだと思いますし、メディアも金沢や目立つ組織中心の報道でなく石川県全体の催し物として県民に周知する報道をしてほしいです。せっかくのラジオ出演の機会だったので、太郎田議員には文化をどう捉えるかという広い視点を持ちつつ話をして欲しかったと感じます。

全体としては賛美歌の美しい音色を聞いて心が和みました。一方で、番組の構成として音楽療法士と県議会議員の報告を分けて話をしたら良かったという意見がありました。

■宮川昌江委員

県のことを発信するのであれば、県の担当者が行うのが一番なのではないかと感じました。

■越島靖子社長

今回のご出演について、皆様の意見をうかがいたいと思い審議対象とさせて頂きました。この番組は太郎田議員の活動報告という位置づけで「石川県のゆく年くる年」というテーマで話をする予定でした。今回は生放送で限られた時

間の中、趣旨が伝わりにくい結果となってしまいました。また、楽器の説明もホームページに写真を載せるなどすれば良かったと反省しています。

選挙前の出演については時期として問題はありません。

■八木光世委員

現職議員の活動報告であれば番組冒頭で説明するべきだと思います。リスナーに対しても明確な情報として伝えるべきことだと感じました。

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第 322 回番組審議会の議事概要の公表

令和 5 年 2 月 4 日（土）19:55-20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインタット・ホームページへの掲載